本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

P

CASIO
1600*JA

取扱説明書

1600

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。
本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでおためしください。

■本機の特長

●EL バックライト
暗いところでもボタン 1 つで表示を明るく照らします。

●テレメモ機能
名前（8 文字）と電話番号（12 桁）を最大 30 件メモリー

●アラーム・時報報知
任意の時刻にメッセージを表示させアラームを鳴らすことや、毎正時に時報を鳴らすことができます。

●デュアルタイム表示
現在時刻とは別にもう 1 つの時刻を表示させることができます。

●タイマー機能
1 秒単位で 24 時間までの減算計測を行ないます。

●ストップウオッチ機能
1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。

安全上のご注意

絵表示について　この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）



⃠ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）

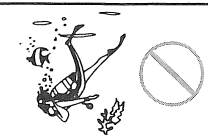


● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



データ控を作ってください

記憶させた内容は、備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



⚠ 注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

目次

安全上のご注意	表紙裏面
操作のしくみと表示の見方	4
ライト点灯について	5
時刻・カレンダーの合わせ方	6
テレメモ機能の使い方	7
アラーム・時報の使い方	9
デュアルタイムの使い方	12
タイマーの使い方	13
ストップウオッチの使い方	15
製品仕様	16
ご使用上の注意	17
お手入れについて	19
電池交換について	19

操作のしくみと表示の見方 Ⓑボタンを押すと以下の順でモードが切り替わります。

※各機能（ライト点灯は除く）を使用した後にⒷボタンを押すと、直接時刻・カレンダーモードに戻ります。

時刻・カレンダーモード



＜表示の見方＞



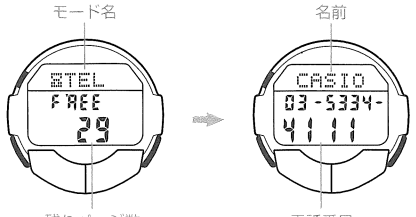
★12/24時間制表示切替について

時刻・カレンダーモードで、Ⓓボタンを押すごとに12時間制表示（午前／午後P）と24時間制表示（24）とが切り替わります。

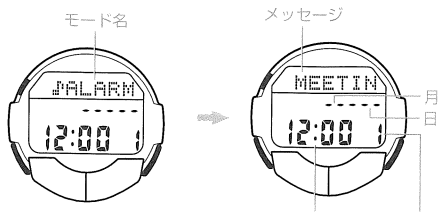
★曜日の見方

SUN：日	MON：月	TUE：火	WED：水
THU：木	FRI：金	SAT：土	

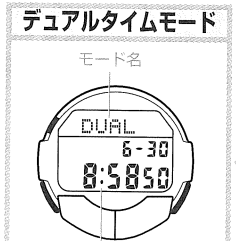
テレメモモード



アラームモード



デュアルタイムモード



タイマーモード



ストップウオッチモード



ライト点灯について

どのモードでも、

Ⓒボタンを押します

➡約２秒間文字板が発光します。



＜ご注意＞

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームセット時刻になると、発光終了後アラームが鳴り出します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻・カレンダーモードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■「秒」合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

(1)セット状態にする

時刻・カレンダーモードのとき、Ⓐボタンを押します



➡「秒」が点滅します。

(2) 時報に合わせてⒺ ボタンを押します

➡「00秒」からスタートします。

※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。（時報は「時報サービス117番」が便利です）



(3)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■「時刻・カレンダー」合わせ

(1)セット状態にする

時刻・カレンダーモードのとき、Ⓐボタンを押します

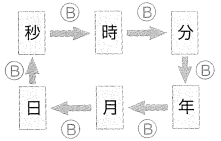


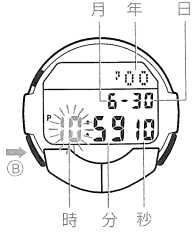
➡「秒」が点滅します。

(2)セット箇所を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





(3)点滅箇所のセット

Ⓔ または Ⓓ ボタンを押します



➡Ⓔ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓓ ボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓔ・Ⓓ ボタンとも、押し続けると早送りします。

(2)～(3)の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※「年」は1995～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(4)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

テレメモ機能の使い方

Ⓑ ボタンを押して、テレメモモードにします。

テレメモモードでは、1件につき名前8文字、電話番号12桁を最大30件メモリーできます。

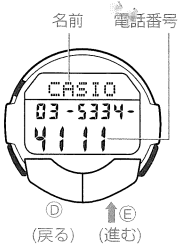
※テレメモモードに切り替えると、残りメモリー数を表示後、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

※データを入力すると、名前順に並び替え（自動ソート*）が行なわれます。

*自動ソート…記憶されたデータは名前の先頭から比較し、自動的に整理されます。比較順はアルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（－.）です。

■ テレメモデータのサーチ

テレメモモードのとき、Ⓔ または Ⓓ ボタンを押します



➡Ⓔ ボタンを押すごとに名前順に進み、Ⓓ ボタンを押すごとに逆方向に進みます。

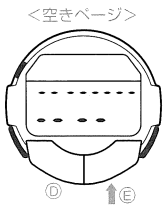
※押し続けると早送りします。

※名前が7文字以上のときは、右から左に流れて表示されます。（データの最後に“<”マークがつきます）

■テレメモデータを入力する

(1)空きページを選ぶ

テレメモモードのとき、Ⓔまたは Ⓓ ボタンを押して、空きページを表示させます

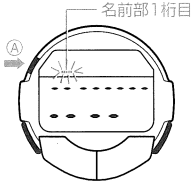


※データがすでに30件メモリーされているときは“FULL”と表示されます。このときは、不要なデータを消去しておいてください。(「■テレメモデータを消去する」参照)

(2)セット状態にする

Ⓐ ボタンを押します

➡名前部1桁目が点滅します。

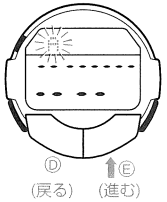


(3)点滅箇所のセット

Ⓔまたは Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓔ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字(数字)が進み、Ⓓ ボタンを押すごとに戻ります。

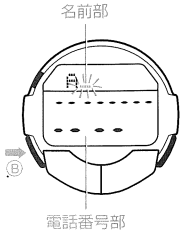
※Ⓔ・Ⓓボタンとも、押し続けると早送りします。



(4)セット箇所を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が「名前部1桁目～8桁目→電話番号部1桁目～12桁目→名前部1桁目…」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



(3)～(4)の操作を繰り返して、名前・電話番号を入力していきます。

※名前は最大８文字、電話番号は最大12桁まで入力できます。

※入力できる文字は、名前部セットのときは(空白)、アルファベット(A～Z)、数字(0～9)、記号(－.)で、番号部セットのときは－、0～9、(空白)です。

(5)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※続けてデータを入力するときは、(1)～(5)の操作を繰り返し行なってください。

■テレメモデータを修正する

(1)ⒺまたはⒹボタンを押して修正したいページを選びます。

(2)Ⓐ ボタンを押します。

➡名前部の1桁目が点滅します。

(3)修正したい部分までⒷボタンを押して点滅を送り、Ⓔまたは Ⓓ ボタンを押して文字(数字)を修正します。

(4)修正が終わりましたら、Ⓐ ボタンを押します。

■テレメモデータを消去する

(1)ⒺまたはⒹボタンを押して消去したいページを選びます。

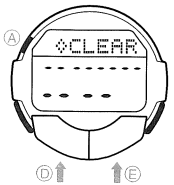
(2)Ⓐ ボタンを押します。

➡名前部の1桁目が点滅します。

(3)Ⓔ ボタンと Ⓓ ボタンを同時に押します。

➡“◇CLEAR”表示後、データが1件消去されます。

※このとき引き続き他のデータを入力することができます。



(4)消去が終わりましたら、Ⓐ ボタンを押します。

アラーム・時報の使い方

Ⓑボタンを押して、アラームモードにします。

本機には、月・日・時・分とメッセージを設定できるアラームが5本あります。設定した時刻になると20秒間の電子音とメッセージで知らせてくれます。
また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

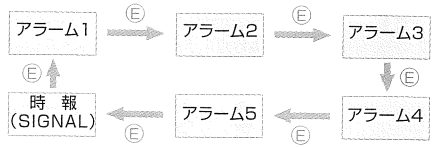
■アラーム時刻のセット

(1)アラーム番号を選ぶ

アラームモードのとき、Ⓔ ボタンを押します

➡Ⓔ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、セットしたいアラーム番号を選びます。

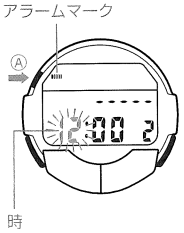




(2)セット状態にする

Ⓐ ボタンを押します

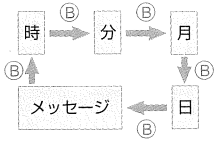
➡「時」が点滅します。
※このとき、アラームが自動的にONになり、"))))" が点灯します。



(3)セット箇所を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





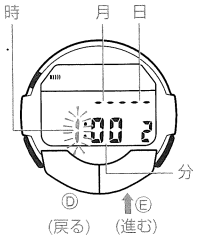
(4)点滅箇所のセット

Ⓔ または Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓔ または Ⓓ ボタンで、点滅箇所をセットします。

★「時」「分」「月」「日」セットのときは…

➡ Ⓔ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓓボタンを押すごとに戻ります。
※Ⓔ・Ⓓ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※「時」のセットのとき午前／午後(P)、または24時間制にご注意ください。
※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。



※「時・分」に加え、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。

毎日鳴らすとき ……「時・分」のみセット
1ヶ月間毎日鳴らすとき …「月・時・分」をセット
毎月同じ日に鳴らすとき …「日・時・分」をセット
指定月日に鳴らすとき ……「月・日・時・分」すべてセット

★「メッセージ」セットのときは…

➡ Ⓔ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字(数字)が進み、Ⓓボタンを押すごとに戻ります。



※Ⓔ・Ⓓ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※メッセージは最大８文字まで入力できます。
※入力できる文字は（空白）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（－.）です。
※メッセージ部が点滅しているときにⒺボタンとⒹボタンを同時に押すと、メッセージのみ消去することができます。

(3)～(4)の操作を繰り返して、アラーム時刻、メッセージをセットします。

(5)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

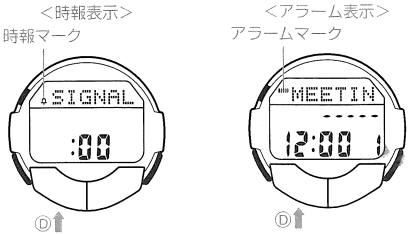
➡ 点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラーム・時報のON／OFF設定

準備：アラームモードのとき、Ⓔ ボタンを押して、鳴らしたいアラーム番号を選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報（SIGNAL）表示を選びます。

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに、マークが点灯／消灯します。それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。



■ 鳴っているアラーム音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。
※時刻・カレンダーモードでは、電子音を止めてもメッセージは20秒間表示されます。

■ モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓔ ボタンを約２秒間押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

デュアルタイムの使い方

Ⓑボタンを押して、デュアルタイムモードにします。

デュアルタイムとは、現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。

※デュアルタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動して表示されます。

■ デュアルタイムの合わせ方

(1)セット状態にする

Ⓐ ボタンを押します

➡「時」が点滅します。

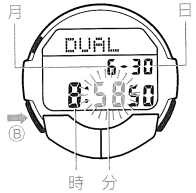


(2)セット箇所を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





(3)点滅箇所のセット

Ⓔ または Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓔ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓓ ボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓔ・Ⓓボタンとも、押し続けると早送りします。



(2)～(3)の操作を繰り返して、デュアルタイムを合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※基本時刻とは別に「月・日」をセットできます。なお、「年」は基本時刻と同様になります。

(4)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

★12/24時間制表示切替について

デュアルタイムモードで、Ⓓ ボタンを押すごとに12時間制表示（午前／午後P）と24時間制表示（24）とが切り替わります。

タイマーの使い方

Ⓑボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマーは1分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると10秒間の電子音が鳴ります。

また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。(タイマー方法の選び方については、14ページ参照)

●リピートタイマー（繰り返し計測）
タイムアップすると計測が止まります。約10秒後にタイマー時間表示に戻ります。

●オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的に同じ時間を繰り返し計測します。

※オートリピートタイマーを選ぶと“𝙸”マークが点灯します。

■ タイマー時間のセット

(1)セット状態にする

タイマーモードのとき、Ⓐ ボタンを押します

➡「時」が点滅します。



(2)セット箇所を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇔「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

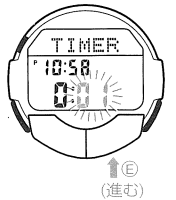


(3)点滅箇所のセット

Ⓔ ボタンを押します

➡ Ⓔ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※押し続けると早送りします。



(2)～(3)の操作を繰り返して、タイマー時間をセットします。

※タイマー時間を24時間に設定するときは表示を“0：00”にします。

★タイマー方法の選び方

表示が点滅しているとき、

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに、リピートタイマーとオートリピートタイマー（“Ⅱ”点灯）が切り替わります。



(4)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマーの使い方

タイマーモードのとき、Ⓔ ボタンを押します

➡ Ⓔボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。

※計測は１秒単位で行ないます。



★計測ストップ後Ⓓボタンを押すと、計測前の表示に戻ります。

★ロスタイムがあるときは、Ⓔボタンでストップ後、もう一度Ⓔボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

ストップウオッチの使い方

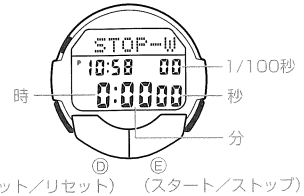
Ⓑボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に０に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、Ⓔ ボタンを押します

➡ Ⓔボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。



★計測中にⒹボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります。（“SPLIT”表示）

※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

★計測終了後Ⓓボタンを押すと、計測値が０に戻ります。（リセット）

●通常計測

Ⓔ スタート → Ⓔ ストップ → Ⓓ リセット

＜積算計測＞

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒺボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓔ スタート → Ⓓ スプリット → Ⓓ スプリット解除 → Ⓔ ストップ → Ⓓ リセット

●1・2着同時計測

Ⓔ スタート → Ⓓ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓔ 2着ゴール → Ⓓ 2着タイム表示 → Ⓓ リセット

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精　　度：平均月差±30秒以内

基本機能：時・分・秒、
午前／午後(P)／24時間制(24)表示、
年・月・日・曜日、
フルオートカレンダー(1995～2039年)

テレメモ機能：名前（8文字）と電話番号（12桁）を
最大30件メモリー

アラーム機能：時刻アラーム
5本
セット単位＝時・分・月・日
メッセージ＝8文字
電子音＝20秒間
時報　毎正時に電子音で報時

デュアルタイム機能：表示内容＝時・分・秒、月・日
12/24時間制表示切替

タイマー機能：セット単位＝1分
計測単位＝1秒
計測範囲＝24時間
タイムアップを10秒間の電子音で報知

ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99
(24時間計)
計測機能＝通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2着同時計測

その他：自動復帰機能、12/24時間制表示切替、
モニターアラーム、
EL(エレクトロルミネッセンス)バック
ライト

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
CMOS-LSI

使用電池：CR-2016（電池別途販売）

電池寿命：約2年
（電子音20秒間／日、ライト2秒間／
日使用した場合）

ご使用上の注意

■防水性

● **表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。**

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※ BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※ 専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

● **表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。**
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
● 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
● 防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
● 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
● 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

● バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

■温度

● 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
● +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

■磁気

● 時計機能には影響ありません。

■薬品類

● 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光部品のケース／バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。
- 長時間、濡れたままにしておくと色が落ちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
- プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■塗装商品のお取り扱いについて

塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 塗装部品は使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗したり、色落ちすることがあります。
- 塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
- 金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

- 「サビ」
  - ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
    ※ 汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
  - 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
- 「劣化」
  - 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
- 「かぶれ」
  - 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
  - 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※ 電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）